

## 第 2 回 音更川河道計画ワーキングを開催しました



第 2 回音更川河道計画ワーキングの様子

平成 24 年 8 月 31 日（金）、寒地土木研究所会議室において第 2 回音更川河道計画ワーキングを開催しました。（9 名出席）

音更川河道計画ワーキング 委員名簿（敬称略）

| 氏 名   | 所属等                   |
|-------|-----------------------|
| 泉 典洋  | 北海道大学大学院 工学研究院 教授     |
| 渡邊 康玄 | 北見工業大学 社会環境工学科 教授     |
| 川村 治  | 一般財団法人 北海道河川財団        |
| 旭 一岳  | 一般財団法人 北海道河川財団        |
| 永多 朋紀 | 独立行政法人 土木研究所 寒地土木研究所  |
| 武田 淳史 | 帯広開発建設部 治水課 課長        |
| 河合 崇  | 帯広開発建設部 治水課 治水専門官     |
| 大串 弘哉 | 帯広開発建設部 帯広河川事務所 所長    |
| 桑村 貴志 | 帯広開発建設部 帯広河川事務所 流域計画官 |

### 【第 2 回ワーキングの議題】

音更川における河岸侵食対策

- (1) 音更川の外力設定について
- (2) i-RIC(Nays2D)を用いた河床変動シミュレーション
- (3) 出水時の蛇行発達過程の分析
- (4) 堤防防護計画について

### 【結果】

- ・音更川の堤防防護計画に用いる外力は平成 23 年 9 月出水とするが、この出水の流量ハイドロについては検証を行う。
- ・i-RIC(Nays2D)を用いた計算は、平成 23 年 9 月出水時の蛇行変化や樹木の有無による計算結果の違いなどが表現することができており、今後は Nays2D を用いて河床変動の将来予測を行う。
- ・流路蛇行の模型実験の再現計算を Nays2D で再現計算を行ったところ、蛇行発達現象が再現できた。今後は初期河床形状が蛇行発達に与える影響などについて分析を進める。
- ・堤防防護計画については、平成 23 年 9 月出水時の河岸侵食量などを指標とした現案の考え方で良いが、護岸の設置位置について引き続き検討を進める。

### 【次回の予定について】

第 3 回音更川河道計画ワーキングは、平成 24 年 10 月頃に開催を予定。

#### 【お問い合わせ先】

音更川河道計画ワーキング事務局

○北海道開発局 帯広開発建設部 治水課 治水専門官（河合）

帯広市西 4 条南 8 丁目 TEL:0155-24-4105 FAX:0155-27-2377

○北海道開発局 帯広開発建設部 帯広河川事務所 流域計画官（桑村）

中川郡幕別町札内西町 73 番地 6 TEL:0155-25-1295 FAX:0155-24-1765